

(高学年…5, 6年)

		達成度調査等及び児童の学習状況から見た成果と課題 ○成果 ▲課題	
		5年	6年
結果の分析	国語	<p>○「話すこと・聞くこと」の達成率は96%である。</p> <p>▲「言語事項」の達成率は73%である。</p> <p>・新出漢字は定期的に小テストを行う。漢字50問テストは100点を合格点とし、習得できるまで繰り返し再テストを行う。東京ベーシックドリルを活用し、理解の不十分な漢字を反復練習していく。電子黒板等ICT機器を活用して字形を視覚的にとらえる学習を取り入れる。</p>	<p>○「読むこと」の達成率は91%である。</p> <p>▲「言語事項」の達成率は71%である。</p> <p>・確認テストと練習の時間を計画的に設け、継続的に練習する機会をもつようにする。東京ベーシックドリルを活用し、理解の不十分な漢字を反復練習していく。</p> <p>・古典文学の一節に触れ、昔の人のものの見方や感じ方、考え方を学び、音読・暗唱をして言葉のリズムを楽しむ。</p>
	算数	<p>○「知識・理解」の達成率は84%である。</p> <p>▲「数学的な考え方」の達成率は73%である。文章問題の読み取りや、立式に課題がある。</p> <p>・電子黒板等のICT機器を有効活用し、問題文の読み取りを丁寧に行ったり、数直線に表したりする活動を取り入れることで、課題を正しく把握し、立式できるようにする。</p>	<p>○「技能」の達成率は80%である。</p> <p>▲「数学的な考え方」の達成率は71%である。</p> <p>・文章題の数量関係を、児童の実態に応じて線分図や数直線、具体物を活用しながら捉えさせ、解決の見通しをもたせる。根拠を明らかにしながら演算決定や単位換算の処理を適切に行うことができるようにする。ICT機器を活用し考えを共有できるような話し合い活動を設定する。</p>
	理科	<p>○「科学的な思考・表現」の達成率は92%である。</p> <p>▲知識の定着に課題がある児童がいる。</p> <p>・実験や観察から得られた結果を数値化したり、理科学用語を用いながら文章でまとめたりすることで、科学的な見方や考え方に通じるような数値の意味合いを捉えたり、結果の考察をしたりするように進めていく。結果を整理する際に、電子黒板等ICT機器を活用する。</p>	<p>○グループやクラス全体で実験方法を考えられるようになってきた。</p> <p>▲「技能」の達成率は70%である。</p> <p>・視点を与え、計画を立て、見通しをもった実験・観察ができるようにする。また班の中での役割分担などについても指導し、一人一人が技能を身に付ける機会を得られるようにする。さらに表やグラフを正確に読み取る力を育てる。</p>
<p>*達成率…金富小学校の各学年において目標値を上回った児童の人数割合(達成率=達成した人数÷受験者数)</p>			
調査以外の教科についての成果と課題	<p>○家庭科では、日々の生活に主体的に関わろうとする関心や態度は高まっている。</p> <p>▲生活経験に差があり、技能面で個人差が多い。家庭科カード等を活用し、家庭の協力を得られるようにする。</p> <p>○音楽では、歌唱の技能面で、正確な音程で歌える児童が多い。</p> <p>▲鑑賞では、感じ取ったことを言葉で表す力が不足している。電子黒板を使って曲にそった映像を流しながら鑑賞することで、鑑賞後に感じ取ったことを学級全体で共有し、自分の考えを深められるようにする。</p> <p>○図工では、全体的に関心意欲をもち、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>▲発想に時間がかかる児童や、用具の扱い方などの技能面で課題を抱える児童がいる。技能面はICT機器を活用し、道具の正しい使い方等個別指導をする。</p> <p>○体育では、全体としては運動への関心意欲は高い。</p> <p>▲個人差があり、運動に対する苦手意識や抵抗感をもつ児童がみられる。体づくり運動と保健を関連させた指導を行い、自己の体力に気付き、体力の向上をめざす気持ちを育てる。</p>		